

職場から

年末特別手当支給(10日)。「うれしいが旅行は行けないし、外食も難しいし」「テレワークで家族に負担をかけたので少しリッチな食事会をやることにした」

× 75歳以上の医療費値上げ問題。自民党と公明党が年収200万円



健康保険料が年々上がり、介護保険料も取られ、その上窓口負担を倍にするとはいひどい。撤回すべきだ「働き盛りの人々の負担軽減のためというが税金の無駄遣いや、毎年増え続ける膨大な軍事費を削れば財源はある」

× 新型コロナウィルス。10日、国内感染者が新

【つらへ続く】

インピーダンス

日本共産党通研支部

<http://impedance.sakura.ne.jp/>
jcp.impedance@gmail.com

No. 2537

2020 年 12 月 14 日

定価 1 部 10 円

大飯原発 設置許可取り消し判決

規制委は自ら定めたルール守っていない

再稼働やめ、原発ゼロへかじを切れ

大阪地裁

福井県の住民らは、大飯3、4号機について想定を超える大きな地震発生が考慮されておらず、国の原発許可は違法だと大阪地裁に提訴していました。過去の事例から導かれた計算式で算出されるのは平均的な地震規模です。実際には「ばらつき」があります。規制

制委も、福島原発事故後に「ばらつき」を考慮する必要があること

を「審査ガイド」に明記しました。

ところが関電は「ば



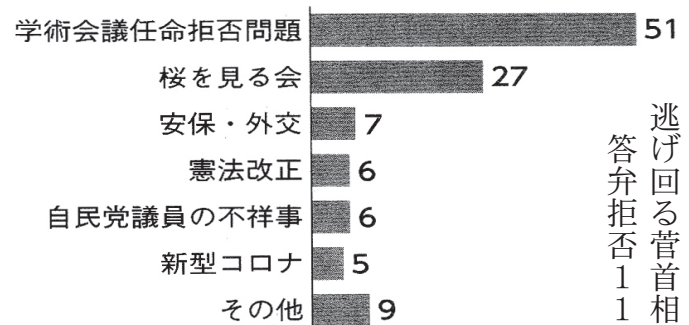
らつき」を考慮せずに基準地震動(規定される最大の地震の揺れ)を定め、規制委もそれを認めました。大阪地裁は「審査ガイド」が定めた「ばらつき」が無考慮なことを指摘し、規制委の審議・判断に「看過しがたい過誤、欠落がある」と結論付け、国の設置許可を取り消

しました。地震と火山のリスクと向き合い、原発運転を認めないとした司法判断は11年以降6回目です。

規制委は、自ら定めたルールすら守らず、他の原発審査でも同様のやり方で「合格」させています。規制委の審査が安全性を保証しないことを示した司法判断を直視し、いま再稼働をやめ、原発ゼロへかじを切る時です。

今週の数字

臨時国会での菅首相の「答弁拒否」回数



逃げ回る菅首相
答弁拒否111回

「しんぶん赤旗」調べ

天の川の輝き永遠に

神津島が「星空世界遺産」に

伊豆諸島の神津島村が1日、NPO国際ダークスカイ協会(IDA、本部米国アリゾナ州)から、「星空版世界自然遺産」とも言われる、「星空保護地区」に認定されました。

インピーダンスにカンパをお願いします

インピーダンス編集委員会

同制度は、公害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みをたたえるもので、日本国内では沖縄県の西表石垣国立公園に続いて2例目です。

IDAは、「都市部から訪れた多くの人々を感動させ、宇宙の神秘へと誘うことでしよう」とコメントしています。

テレワークの落とし穴②

労基法骨抜きへの恐れ

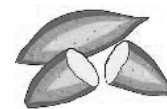
テレワークが労働基準法の骨抜きにつながり、労働者に歓迎される恐れも指摘されています。

情報通信研究者の高野嘉史氏は、「テレワークは通勤時間の負担を解消し、労働時間に一定の自由度を与えるなど、労働者に歓迎される側面があるのも、否定できない」としつつ、「忘れてはならないのは、テレワークは、長時間・不払い労働の拡大につながるだけだ

く、ジョブ型社員の導入、成果型の労働時間管理、裁量労働制など『柔軟な働き方』として資本の側が導入を試み、労働者側の抵抗に直面してきた課題を一举に解決しようとするものだという事です」と指摘。「テレワークの普及による労働基準法の実質的な骨抜きに対する草の根からのたたかいが重要です」と強調しています。

【職場からの続き】

× ×
探査機「はやぶさ2」のカプセル帰還(6日)。「無事回収できて良かった」「カプセルにはリュウグウの岩石のかけらが0.1g以上



入っていると期待されている」「はやぶさ2は直径約30mの小惑星に、また11年もかけての旅に出た」
× ×
学術会議の会員任命拒否問題。「10日、杉田官房副長官の関与を示す新資料が野党の要求で内閣府から提出された」「ほとんど黒塗りだが、手書きで『外すべき者(副長官から)』と記されている」



× ×
世論調査で菅内閣の支持率下落。「共同通信

社の調査では支持率50.3%で前回11月から12.7ポイント急落した」「政府のコロナウイルス対策でも『評価

しないが』55.5%と賛否が逆転した」「桜を見る会疑惑では安倍前首相の国会招致を60.5%が要求している」
× ×

「寒くなった。ダウンコートを着込んだ」「例年なら12月に入るとイルミネーションやジングルベルなどで華やかだ雰囲気になるが、今年は盛り上がりがない」

辺野古新基地 「おそらく完成しない」 米CSIS報告

古新基地について、「普天間基地の辺野古移設計画は、完成が2030年まで延期され、工費が高騰しており、困難に直面し続けている」とした上で、「完成することはおそらくないように思われる」と述べています。

防衛省職員を毎年受け入れ、日本政府に都合の良い報告書を公表してきたCSISが、こうした認識を示したことは注目されます。

米国の保守系シンクタンク「戦略国際問題研究所」(CSIS)が、「2021会計年度の米軍―海兵隊」と題する報告書を公表(11月16日)。その中で沖縄の辺野

学術会議任命拒否撤回訴え

人文系310学会 世界に発信

佐藤泉青山学院大学教授は「かつてのような言論統制の時代に一気に転落落ちるのか。日本社会は重大な岐路にいる」と警鐘を鳴らしました。

菅首相による日本学術会議会員の任命拒否を危惧する人文社会系の310学協会は2日、拒否撤回を求める共同声明を英語で発表、日本外国特派員協会などで記者会見し世界の研究者や市民に賛同を訴えました。世界に向けて、これだけの規模の人文社会科学の学会がまと

まって意見表明するのは初めてといえます

12・19国会議員会館前行動

日時..12月19日(土) 14時00分
場所..衆議院第2議員会館前を中心に
共催..戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会/安倍9条改憲NO!全国市民アクション
(フィジカルディスタンスを確保/マスク/できるだけブラカード持参)

世界遺産の最大脅威 「気候変動」「コロナ影響」も ユネスコ諮問機関

候変動の脅威が「高い」や「非常に高い」とし、世界最大のサンゴ礁のグレートバリアリーフ(オーストラリア)は海水温の上昇などでサンゴ礁が縮小、海洋生物の減少などが見られ、緊急で大規模な追加的保全措置が必要な「危険」な状態と評価しました。

また新型コロナウイルスによる観光地の封鎖で収入減となり、取り締まる職員の配置が制限され「密猟や天然資源の違法な使用の危険性を高めている」と指摘しています。

ユネスコ諮問機関の国際自然保護連合は2日、気候変動が世界自然遺産の「最大の脅威」とする報告書を公表。
252遺産の3分の1の83遺産に関し、気